

平成27年度第2回自治体等FM連絡会議多摩地域会の開催報告

多摩地域会代表幹事 東京都府中市行政管理部建築施設課
公共施設マネジメント担当 南學 進

開催日 平成28年1月29日（金） 午後1時30分から午後5時まで
開催場所 武蔵野スイングホール スカイルーム（東京都武蔵野市）
参加者数 63人（多摩地域20団体59人、その他3団体4人）

内容報告

1 公共施設マネジメントから考える郊外都市の未来

講師 東洋大学 理工学部 建築学科 専任講師 藤村 龍至 氏

様々なプロジェクトに関わっている藤村氏より、事例を交えながら、公共施設マネジメントに取り組む上での課題や進め方などについてのお話がありました。

具体的には、① 施設の老朽化や人口減少、厳しくなる財政状況など、将来の課題解決に向けて取り組んだ「鶴ヶ島プロジェクト」、② 公有不動産の効果的な活用に当たり、費用対効果を踏まえた事業手法の選定に取り組んだ「大宮東口プロジェクト」、③ 河川を中心とした都市空間の形成と、周辺におけるまちづくりの取組を一体的に進める「おとがわプロジェクト」を題材として、「公」と「学」の連携を中心とした進め方とともに、合意形成の図り方をご説明いただきました。



2 各市の取組報告

(1) 町田市（政策経営部 企画政策課 政策研究担当課長 石坂 泰弘 氏）

町田市では、社会・経済状況の変化に的確に対応し、市が抱える課題を解決していくため、「町田市未来づくり研究所」を設置し、政策や施策の調査研究を行っています。同研究所から提言された「まちだニューパラダイム 2030年に向けた町田の転換」の内容や、それを踏まえた開催した公共施設に関する市民参加型ワークショップ「まちだニューパラダイム研究会」の内容について、ご説明いただきました。

(2) 国分寺市（政策部 政策経営課 主任 芦田 隼人 氏）

国分寺市では、公共施設等総合管理計画を策定する上で、施設利用者の意見と非利用者の意見をバランス良く集めるため、様々な市民参加の手法を取り入れながら進めてきました。その1つである、無作為抽出による連続ワークショップについて、概要やその効果、今後の課題などについて、現在策定中の公共施設等総合管理計画の案とともにご説明いただきました。

3 職員同士の意見交換

1グループ5人程度で、公共施設マネジメントに関する各市の市民参加の手法や結果、課題などを中心に、計画策定後の実行段階を見据えて、様々な情報交換を行いました。

また、意見交換には、講演いただいた藤村先生にも参加いただき、公共施設マネジメントの推進方策について、活発な議論が交わされました。



4 その他

今後も、FM関係者が顔の見える形で先進事例を学びながら、情報交換や交流を行うことによって、自治体等のネットワークの強化を図るとともに、意識レベル・知識レベルの向上を図るため、多摩地域会を開催したいと考えております。今後とも皆さまのご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。